

あらためて基本的な 感染症対策を

市長 米本 弥一 郎



猛威を振るう新型コロナウイルス。全国と市内の新規感染者は、共にこれまでの最多となりました。年代別では10代が最も多く、次いで10歳未満の子ども、20代となっており、若い世代の感染が急拡大しています。

新型コロナウイルス感染症対策分科会から「第7波に向けた緊急提言」が示されました。5つの対策の概要を確認し、実践をお願いします。

1. ワクチン接種の加速化

4回目の対象者や、3回目までの接種を受けていない方の速やかな接種を推奨する。

2. 検査のさらなる活用

国や自治体は、検査体制の確保と検査キットが購入できる体制を構築。コロナの諸症状があるときや、お盆や帰省などの際は検査を推奨。

3. 効果的な換気

エアロゾル除去のための空気の出

入りの確保や、空気の流れを阻害しないパーティションの配置。

4. 国・自治体による効率的な医療機能の確保

国や自治体は、より多くの医療機関による診療参画と医療機関間の連携を促す。

5. 基本的な感染対策の点検と徹底

マスクの着用、3密や大声を出すことを避ける、喉の痛みなどの症状のある方は会合やイベントに参加しない。

ワクチン接種を希望する人は健康づくり課へ問い合わせてください。市としては県や旭瑤医師会、旭中央病院などと連携し、検査体制や医療体制の充実に努めます。

市民の皆さまと一緒にこの難局に立ち向かっていきたいと思えます。「チーム旭・オール旭」で第7波を乗り越えましょう。